

第31回全日本学生中国語弁論大会で 外国語学部中国学科の学生が健闘!

去る12月2日(土)、第31回全日本学生中国語弁論大会(京都外国語大学、上海教育国際交流協会主催)が京都外国語大学で行われ、愛知県立大学外国語学部中国学科の2年生が入賞を果たしました。

本大会は、長期の留学や滞在をしていない2年生、3年生が参加できるコンテストで、本学からは2年生が3名出場しました。

3名は、夏休みごろからスピーチの内容を吟味し、後期スタートには中国語の準備ができて、少しずつ練習しながら当日にベストなパフォーマンスができるように備えてきました。

安福千尋さんは“私の名前”と題して、自分の名前が日本人にも中国語圏の人にも縁起のいい名前として、印象づけられる名前であることから、これからは日中の架け橋になりたいという話をしました。

河内彩花さんは“努力は成功のもと”と題して、アルバイトで中国語圏の人たちとエピソードを通して、自分と中国語の向き合いについて話をしました。

伊藤奏絵さんは“明鏡止水”と題して、高校まで取り組んだ剣道と当時知った四字熟語“明鏡止水”との出会い、中国語との出会いについて話しました。

当日は、3人ともが実力をしっかり出して、申し分のないスピーチができました。中でも、伊藤奏絵さんは、上位3名が受賞する、京都外国語大学総長賞を受賞しました。

学生の大会参加にあたって、ご協力いただいたみなさんに心より感謝いたします。

中国語のコンテストはまた来年もいくつかあります。次は、みなさんが参加してみてくださいはいかがでしょうか。

結果は以下の通りです。

◆京都外国語大学総長賞(3名受賞)

伊藤奏絵(中国学科2年)

◆京都商工会議所会頭賞

河内彩花(中国学科2年)

※当日についての報告は以下のサイトからも閲覧できます。

<https://www.kufs.ac.jp/news/detail.html?id=g1q1v1wl>